

JAだより

いわい



岩井農業協同組合・〒306-0631 茨城県坂東市岩井2229番地 TEL 0297-35-8331(代)



第55回令和5年通常総会を開催…P2



JA岩井ホームページでJAだよりがご覧になれます





議長を務めた磯山道弘さん（中央右）と落合和明さん（中央左）

第55回 令和5年通常総会

JAは4月23日、市総合文化ホール「ベルフォーレ」にて、4年ぶりに組合員出席による通常総会を開催しました。議決権行使書は1533人の事前提出を受け、当日の出席者は421人となりました。

提出議案

第1号議案

【報告事項】

第55年度（令和4年度）貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書の内容並びに会計監査人の監査報告及び監事の監査報告について

第55年度（令和4年度）部門別損益計算書について

【決議事項】

第55年度（令和4年度）JA3カ年計画（第一年次）事業報告及び剰余金処分案の承認について

第2号議案 JA3カ年計画(令和4年度から令和6年度まで)兼自己改革工程表の見直しについて

第3号議案 定款の一部変更について

第4号議案 令和5年度の理事報酬額の決定について

第5号議案 令和5年度の監事報酬額の決定について

第6号議案 役員を選任について

第7号議案 退任理事に対する役員退職慰労金の支給について

第8号議案 退任監事に対する役員退職慰労金の支給について

第9号議案 公益社団法人茨城県森林・林業協会への加入について

附帯決議 本日の決議事項について、権利義務に関せざる字句の修正及び行政庁の指示による変更については、その処理を理事会に一任する。

総会の開会にあたり風見組合長は「ロシアのウクライナ侵攻やエネルギー需給の逼迫により、生活必需品や農業資材など様々なものが値上がりしています。JAでは利用者・組合員の皆様の生活・財産を守り、消費者の味方となるJAとして事業を展開し、まい進してまいります。今後も皆様としっかり向き

合い、対話を続けてまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願いいたします」とあいさつしました。議事では、神大実区域の落合和明さんと七郷区域の磯山道弘さんが議長を務め、令和4年度事業報告、JA3カ年計画・自己改革工程表の見直し、定款の一部変更、役員を選任などが協

議され、提出した全9議案と附帯決議が原案通り可決されました。総会後には今年度の生産組合長を対象とした抽選会が行われ、第55回総会を記念した特賞55型テレビ2台や自転車14台をはじめ、多くの賞品が対象者全員に贈られました。

◆第55回 令和5年通常総会資料「協同のあゆみ」につきまして、下記3ヶ所の修正をご案内申し上げます。

修正箇所 1 損益計算書（29ページ）の金額を下線部のとおり修正致します。

【誤】	科目	金額	
	(15) その他事業収益	<u>467,402,447</u>	
	(16) その他事業費用	<u>385,931,840</u>	
	その他事業総利益		81,470,607

【正】	科目	金額	
	(15) その他事業収益	<u>414,898,054</u>	
	(16) その他事業費用	<u>333,427,447</u>	
	その他事業総利益		81,470,607

修正箇所 2 第5 注記表（32ページ）に下線部の文章を追加致します。

(7) その他計算書類等の作成のための基本となる重要な事項

② 当組合が代理人として関与する取引の損益計算書の表示について

購買事業収益のうち、当組合が代理人として購買品の供給に関与している場合には、純額で収益を認識して、購買手数料として表示しております。また、販売事業収益のうち、当組合が代理人として販売品の販売に関与している場合には、純額で収益を認識して、販売手数料として表示しております。

利用事業収益のうち、当組合が代理人として役務・サービスの提供に関与している場合には、純額で収益を認識して、利用事業収益として表示しております。

その他事業収益のうち、当組合が代理人として役務・サービスの提供に関与している場合には、純額で収益を認識し、その他事業収益として表示しております。

修正箇所 3 第5 注記表（32ページ）の文章を下線部のとおり修正致します。

【誤】

(1) 収益認識に関する会計基準等の適用

① 代理人取引に係る収益認識

(一部略)

この結果、当事業年度の購買事業収益が48,277,405円、購買事業費用が48,277,405円減少し利用事業、その他事業収益が162,914,078円、その他事業費用が162,914,078円減少しております。これによる当事業年度の事業利益、経常利益及び税引前当期利益への影響はありません。

【正】

(1) 収益認識に関する会計基準等の適用

① 代理人取引に係る収益認識

(一部略)

この結果、当事業年度の購買事業収益が48,277,405円、購買事業費用が48,277,405円減少し、利用事業収益が109,507,739円、利用事業費用が109,507,739円減少し、その他事業収益が52,504,393円、その他事業費用が52,504,393円減少しております。これによる当事業年度の事業利益、経常利益及び税引前当期利益への影響はありません。

当JAでは、通常総会で決議された「JA3カ年計画兼自己改革工程表」に掲げた3つの柱、①農業 ②地域・くらし ③組織・経営 に係る事業を以下のとおり展開し、持続可能で高付加価値な農業の実現を目指します。

①農業（農業者の所得増大）

㊦初夏ねぎ出荷最盛期！

JAと岩井農協園芸部は5月8日、特産㊦ねぎの出荷最盛期を目前に4支部それぞれに「初夏・夏ねぎ目ぞろえ会」を開き、生産者、園芸部役員、市場担当者、JA役職員ら計300人が出席しました。

七重支部に出席した園芸部の福田邦雄部長は「4月中旬に出荷が始まった初夏ねぎは、過去最高の出荷量で推移している。生産資材や出荷コストが高騰しているからこそ、品質を保ち、高値販売を維持しよう」とあいさつしました。

また、市場担当者やJA職員が、ねぎの太さや曲がり具合を一目でチェックできる「ネッキースケール」を用いて、出荷されているねぎが規格どおりに選別されているかを確認し、出荷時の注意点を説明。生産者個々の目を揃えました。

今年は4月12日の初夏ねぎの出荷スタートを皮切りに、夏ねぎ、秋冬ねぎ、翌年の春ねぎまで年間途切れることなく全国の主要都市に200万本以上（約12,000ト）出荷を計画しています。



ネッキースケールを用いて選別・出荷時の注意点を説明する市場担当者（JA岩井北支店）

外国人農業技能実習事業で国際貢献

JAでは、経済発展を担う「人づくり」の一環として、2007年（平成19年）から農業技能実習生を受入れ、管内農家への配属を行っています。

4月18日には、本年12月に入国を予定する実習生との面接を、現地インドネシアとWebでつないで行いました。面接を担当したJA役職員からは「何年間、日本で農業を学びたいですか」「これまでの職業経験を農業のどこに活かそうですか」などの質問をして、実習生候補者40人の中から21人を選出しました。

受入農家に配属されると、農業技術の習得に向けた農作業が始まります。



農業技能実習生候補者と面談するJA役職員

②地域・くらし（持続可能で安心して暮らせる豊かな地域社会の確立）

七重小5年生がトウモロコシ定植

難しいかな？SDGs

七重食育研究会とJAは4月24日、七重小学校の5年生31人を対象に野菜作り体験教室を開き、地域の農業と食の大切さを伝えました。校内6区ほどの畑にマルチシートを張る作業の実演後、研究会員らの手ほどきを受けながらトウモロコシ苗（品種名：ゴールドラッシュ）1400本を、児童が1株ずつ丁寧に植え付けました。

作業を終えた児童たちは「トウモロコシは途中でどんな管理をしたらいいのか」「雑草もよく見て抜いておこう」と話し、興味と知識を深めました。この日定植したトウモロコシは、児童や研究会役員が生育管理を続け7月に収穫する予定です。

今回使用したマルチシートは、生分解マルチというもので土中の微生物により徐々に分解され、最後には土中で無くなるものです。マルチの回収・焼却処理と違いSDGs（持続可能な



開発目標)に設定されている「気象変動に具体的な対策を」「つくる責任つかう責任」への取り組みだけでなく、子どもたちが食に興味を持つことで「飢餓をゼロに」もつながるものと期待しています。

畝ごとに定植時の注意点を説明する研究会役員

近隣地域の子どもたちがトウモロコシの種まき体験

4月20日、坂東市幸田のJA職員の圃場で、近隣地域（坂東市、常総市、つくばみらい市）の子どもたちとトウモロコシの種まき体験を行いました。2区ほどの圃場に張られたマルチシートの前に、参加者19人が向かい合わせで入り、播種作業を行いました。

子どもたちはお互いに声を掛け合い、種を埋める深さや同じところで何度も播種しないよう注意しながら、播種作業を楽しみました。



②地域・くらし（持続可能で安心して暮らせる豊かな地域社会の確立）

ガールスカウトが田植え楽しむ

ガールスカウト茨城県第8団は4月29日、稲作農家の飯田恵一さんの水田で田植え体験を行いました。今年はコロナ禍が落ち着き、団員やその保護者の参加が70人に増えました。

飯田さんからは「苗は3～4本一緒に植えて、株元に土を寄せて苗が浮かび上がらないようにしましょう」「稲作のおもしろさと大変さの両面を体験してもらいたい」とあいさつがあった後、JAや市農業政策課職員が水田の両端からロープを張ると、子どもたちは横一列に並んで水田に入り、早生種「あきたこまち」の植え付けを行いました。

植え付け後は飯田さんが稲を管理し、8月に子どもたちが手刈りでの収穫・機械作業の体験、更には販売も計画して、うま味と味のコク、甘みの強い「あきたこまち」を消費者の方に味わってもらいたいです。

横一列で田植えを楽しむ参加者



③組織・経営（農業、地域、くらしを支える組織・事業基盤強化）

営農経済渉外職員の知識向上図る

JAは4月27日、JA稲敷の西部地区担い手農業経営研究会に参加し、稲作先進産地のスマート農業について研修しました。研究会メンバーであるJA稲敷管内の担い手農家や職員、関係機関によるドローンや自動走行田植え機の現地検討会が行われました。ロボット・情報通信技術を活用して、省力化や高品質生産を実現する新たな分野の農業技術が継続的に検証されています。

GPS（人工衛星）の利用では、過去の生育バラつきをデータ蓄積・画像分析し、地力マップを構築。そのデータを元に自動走行田植え機が、水田内で精密な施肥量を自動で可変させながらの田植えを可能にしています。またGPSにより、水田に行かなくても生育ステージや病害リスクが予測できるため、効率的な圃場管理と作業の迅速化を図れる技術となっています。

今回、研究会に参加した当JAの営農経済渉外担当は、農家・組合員宅へ恒常的に出向いて新たな情報や商品、サービスの提供を図り、農家・組合員ニーズに応える役割を担っています。肥料や農薬に関すること、家庭菜園などお気軽にご相談ください。

自動走行田植え機に試乗する営農経済渉外担当



理事会だより 令和5年4月23日

主な報告事項

- ①監事監査規程の一部改正について
その他

主な協議事項

- ①役付理事の選任について
②代表理事の選任について
③理事の順位決定について
④理事報酬の配分について
⑤退任理事に対する役員退職慰労金の支給について
⑥行政庁に提出する業務報告書の承認について
⑦「職員給与規程」の一部改正について
⑧建設委員の選任について
⑨岩井西支店事務所の建設について
その他

今月の表紙



岩本信二さん(下矢作)のお孫さん
晴翔くん(2) 晃樹くん(0)

JA岩井「税務相談窓口」開設

相続

税務

インボイス

JA岩井では、顧問税理士による『税務相談窓口』を開設しました。年々煩雑となる税務・相続手続きや税制改正について、専門知識を持った税理士が相談対応致します。

地域組合員の皆さま、**相談は無料**でご利用いただけますので、ぜひご活用ください。

【税務相談窓口】

- ・税理士 倉持英雄（前JA岩井常勤監事）
- ・相談日時 毎週金曜日 午前9時～午後3時 ※祝祭日等により変動する場合がございます。
- ・相談会場 JA岩井 営農支援課（住所：坂東市鶴戸427-1旧野菜予冷センター2階）
- ・電話 0297-38-8618 ※お掛け間違いにご注意ください。

無料

年金相談会



昨年の相談会の様子

◇日時：7月8日(土) 午前9時～午後3時 ◇場所：JA岩井 本店2階（住所：坂東市岩井2229）

社会保険労務士 小林 修 先生

- 年金手帳、年金証書、基礎年金番号通知書、認印など
ご持参いただきますと、より具体的なお話ができます。

《相談会へのお申込み・お問合せは、信用渉外担当または各金融店舗までお願い致します》

岩井東支店：0297-35-0043

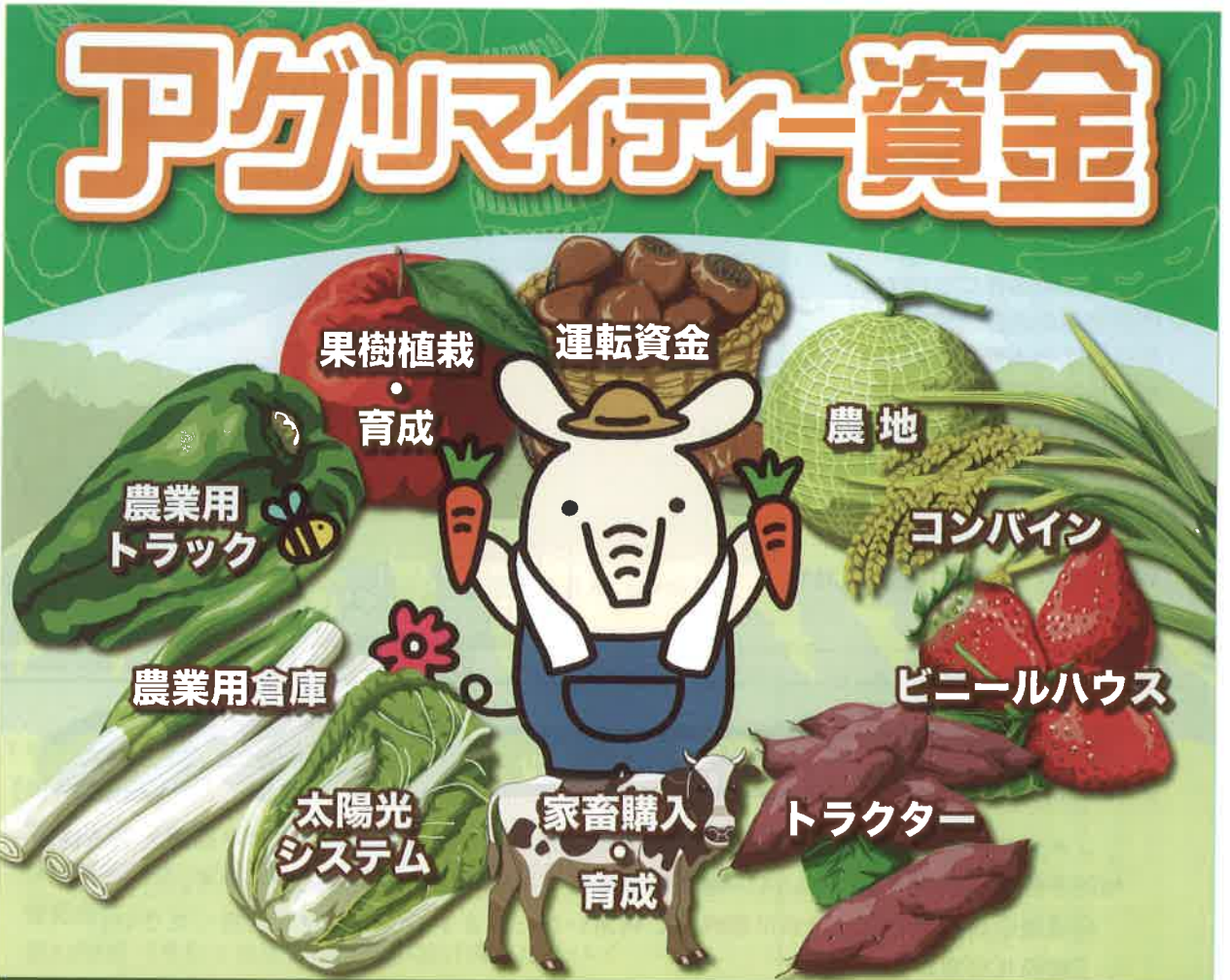
岩井南支店：0297-38-2706

岩井西支店：0297-35-0354

岩井北支店：0297-34-2321

本店：0297-35-8333

JAだよりいわい No.522 / 発行所 岩井農業協同組合 / 発行人 風見晴夫 / 編集 企画管理課 / 印刷 生文社(株)



農業融資のこと、農業経営のことは、JAにご相談ください!!

金利

農業生産に直結する設備資金・運転資金の場合、JAバンク利子補給(最大1.0%)の適用により、最長3年間、引き下げ後の金利でご利用いただけます。
※JAバンク利子補給は、当初借入金額が1百万円以上の場合に限ります。利子補給後の金利はJAにご確認ください。

**幅広い
資金使途**

農業生産や加工・流通・販売に関わる様々な資金、再生可能エネルギー利用に関わる資金など、ご要望に合わせて幅広くご利用いただけます。
※農機具(中古)、ハウスのビニール張替え費用にもご利用可能です。

**スピーディー
な実行**

JAバンク茨城がご融資させていただく資金のため、スピーディーな対応が可能です。

*詳しくは、お近くのJAバンク窓口へ

 **JAバンク茨城**
<https://www.jabank-ibaraki.or.jp>

**職員の異動
について**

職員の異動を5月1日付で次のとおり行いました。今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い致します。

営農部長 吉岡 忠志 (営農副部長)

()内は旧任